

映画上映

人生フルーツ

Life is Fruity

風が吹けば、

枯葉が落ちる。

枯葉が落ちれば、

土が肥える。

土が肥えれば、

果実が実る。

こつこつ、ゆっくり。

人生、フルーツ。

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅。雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自邸に倣って建てた家。

四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうに変わります。刺繍や編み物から機織りまで、何でもこなす英子さん。

ふたりは、たがいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。そう、「家は、暮らしの宝宝箱でなくてはいけぬ」とは、モダニズムの巨匠ル・コルビュジエの言葉です。

かつて日本住宅公団のエースだった修一さんは、阿佐ヶ谷住宅や多摩平団地などの都市計画に携わってきました。

1960年代、風の通り道となる雑木林を残し、自然との共生を目指したニュータウンを計画。けれど、経済優先の時代はそれを許さず、完成したのは理想とはほど遠い無機質な大規模団地。

修一さんは、それまでの仕事から距離を置き、自ら手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、雑木林を育てはじめました。

あれから50年、ふたりはコツコツ、ゆっくりと時をためてきました。そして、90歳になった修一さんに新たな仕事の依頼がやってきます。

本作は東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾。ナレーションをつとめるのは女優・樹木希林。ふたりの来し方と暮らしから、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。



会場へのアクセス



注意事項

駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【主催】 都城市

【申し込み・問い合わせ】

m20 TEL:0985(50)5578

【後援】 宮崎県教育委員会・社会福祉法人 都城市社会福祉協議会
都城市自治公民館連絡協議会・都城市民生委員児童委員協議会
都城地区保護司会・都城市高齢者クラブ連合会・都城市PTA連絡協議会
一般社団法人 宮崎県介護福祉士会・JA宮崎中央会・都城農業協同組合
都城市建設業協会・一般社団法人 都城歯科医師会
一般社団法人 都城市北諸郡医師会・都城商工会議所
一般社団法人 都城観光協会・社会福祉法人なのはな村・南九州大学
都城市民劇場・住友ゴム工業株式会社・BTV株式会社
南日本酪農協同株式会社・霧島酒造株式会社・NHK宮崎放送局
MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・宮崎日日新聞・朝日新聞社・毎日新聞
読売新聞西部本社・特定非営利活動法人 人と道研究会

健康な心と生活のシンポジウム

入場無料
※要予約



田舎暮らしアドバイザー
小橋 暢之 氏



宮崎県キャリア教育推進
トータルコーディネーター
水永 正憲 氏



アナウンサー 元NHKアナウンサー
山根 基世 氏



都城市長
池田 宜永 氏

9月14日(土) 13:00~16:30

(開場12:30)

都城市総合文化ホール 大ホール

【主催】 都城市 【申し込み・問い合わせ】 m20 TEL:0985(50)5578

ごあいさつ



都城市長
いけだ たか ひさ
池田 宜永

この度、「健康な心と生活のシンポジウム」の開催に当たり、御挨拶申し上げます。

日本では、医学の進歩などにより「人生100歳時代」と言われ、希望する高齢者が70歳まで就業機会を確保できる法改正の検討が始まるなど、社会環境は様変わりしつつあります。それに伴い、ライフステージによって、一人ひとりの生活スタイルや考え方、仕事の仕方などの変化が予想され、すべての人が生きがいを感じ、自分らしく安心して暮らせることが求められています。

このような中、本市では「市民が主役のまち」「ゆたかな心が育つまち」を目指し、市民一人ひとりが心と体の健康を保ち、暮らしを守る取り組みを進めております。

今回のシンポジウムを通じて、進学や就職、転職、退職など人生の岐路に立つ人や、結婚や育児、介護などで迷い葛藤している人、生きがいを見失い立ち止まっている人などが、これからの人生を、心豊かに前向きな生活を送れるヒントを得てくださると幸いです。

結びに「健康な心と生活のシンポジウム」の開催にあたり、格別の御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、参加される皆様の一層の御活躍・御発展を祈念申し上げ、挨拶といたします。

プログラム



●基調講演「60歳からの10万時間を楽しく生きる」

講師：小橋 暢之 氏

会社勤めの方は定年を迎え、経営者は後進へゆずる時期を考え始める60歳。これからの「自分の輝く自由な時間」をどう生きていくのか考えてみませんか

●パネルディスカッション

3人のパネリストと池田市長が「心豊かに前向きな生活を送るために」をテーマにトークリレーをします。

●映画「人生フルーツ」上映

パネリスト紹介



小橋 暢之 氏 (こはし のぶゆき)

田舎暮らしアドバイザー

1944年生まれ。東京農業大学大学院(農業経済学専攻)修了後、全国農業協同組合中央会入会。農政部長を経て、2000年より(株)パストラル代表取締役社長。NPO法人ふるさと回帰支援センター理事。

主な著書「村興し戦略」(柏書房)、「国際化時代における農業の合意形成と農協」(富民協会)、「国民にとって農業とは」「早わかりJA入門」(ともに共著、家の光協会)などがある。



山根 基世 氏 (やまね もとよ)

アナウンサー (元 NHKアナウンス室長)

1948年山口県生まれ。早稲田大学卒業後、NHKに入局。多数の番組、ニュース、ナレーションを担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。2007年、NHK退職後、「子どものことば」を育てることを目的に、LLP「ことばの杜」を設立。放送経験を生かして朗読、読み語り等、様々な活動を行った。2013年からは、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けている。2000年・放送文化基金賞、2008年・前島賞(通信協会)、2009年・徳川夢声市民賞受賞。NHK退職後はテレビ朝日「徹子の部屋」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演をはじめTBS「半沢直樹」「ルーズヴェルトゲーム」ナレーションなど、民放の番組も担当。TOKYO FM「感じて、漢字の世界」毎週土曜日 JFN全国38局ネット放送中。



水永 正憲 氏 (みずなが まさのり)

宮崎県キャリア教育推進トータルコーディネーター

1949年2月28日、宮崎県児湯郡都農町に生まれる。

1971年4月に旭化成工業株式会社(現旭化成株式会社)へ入社。2007年6月に上席執行役員 延岡支社長、2010年6月に取締役常務執行役員(人財・労務担当)を務めて、2013年6月に旭化成株式会社を退職。

2013年8月、日向市キャリア教育支援センター長へ着任。2015年4月、NPO法人 学校支援のべおかはげまし隊(延岡市学校支援地域本部事業による学習支援活動)理事を務めながら2016年5月に宮崎県キャリア教育支援センター トータルコーディネーターを兼任。2017年4月には延岡市キャリア教育支援センター長も務める。

2019年3月、日向市キャリア教育支援センター長を退任し顧問へ。現在は宮崎県キャリア教育支援センター トータルコーディネーター、延岡市キャリア教育支援センター長を務める。

